

県内私立大学への説明及び意見聴取結果

新潟県内の私立大学・私立短大（18校）を対象に、新学部設置構想に対する説明及び意見聴取を実施（平成29年8月～10月）。結果は下記のとおり。

※1校で複数の意見を述べている場合があるため、意見別学校数の合計と対象校数は一致しない。

○ 新学部設置に反対する意見 1校

<意見の内容>

- ・ 県立大学は、県内に既にある学部・学科と内容が重複せず、かつ私大に影響を及ぼさないよう全体の入学定員を抑制すべきである。
- ・ 本学と学部・学科が重複する。
- ・ 少子化の中で定員割れをしている私立大学があるときに、公立大学の定員を増やせば、学生確保が困難となる。

○ 学生確保への影響の可能性を指摘した意見 6校

<意見の内容>

- ・ 県立大学は本学の併願先となっており、学生募集に一定の影響が生じる可能性がある。
- ・ 教育分野は重複、競合していないが、18歳人口が減少していく中、一定の影響が生じる可能性がある。

○ その他 新学部に関する期待する意見など 10校

<意見の内容>

- ・ 新学部設置により他の県内大学への志望も高まるような効果を期待している。新潟は学術面で魅力的だということがわかるようにしていかなければならない。
- ・ 新学部の設置により県内の大学・短大の進学者が増加するのであれば県全体の高等教育の向上につながる。
- ・ 新学部についての方向性は良い。学生の取り合いになるなどと言っていたら県の発展はない。県内での教育力を高める、そして学生を受け止める、その方向性は間違っていないと思う。
- ・ 新学部の設置により県内に学生が留まることは良いこと。
- ・ 首都圏に進学すると新潟に帰ってこないことから、県立大学に頑張ってもらいたい。その上で県内各大学がそれぞれの個性を活かしていけば良いと思う。
- ・ 非常によい計画と思う。
- ・ 県内に学部学科が増えることや、県外から優秀な学生が県内に来るとは良いことと思う。

- ・ 子ども学科の定員増は良いことと思う。県内のこども園において良い教育、良い保育を行うという目的は本学と一致するので、競争しつつ協働して良い教育を実施していきたい。
- ・ 新学部は本学の教育研究領域と近いとため、何らかの形で連携・協力関係ができればと考える。
- ・ 県外に進学した若者は戻ってこない。そのことに対応していくのかが県内大学コンソーシアムの目的である。今回の骨子案を受け、本学としては、より特色を出すことにより、すみ分けを図りたい。

○ 意見なし 4校